



# 縁取り空胞を伴う遠位型ミオパチー (DMRV) 患者向けセミナー

縁取り空胞を伴う遠位型ミオパチー (DMRV) は、筋難病の一つで、これまで全く治療法はありませんでした。国立精神・神経センターでは、細胞やモデルマウスを用いた実験を世界で初めて成功させ、治療法開発に向けて、一条の光が見えるまでになりました。近い将来の患者さんを対象とした治療研究の可能性を踏まえて、患者さんにお集まりいただき、研究の現状と治療法開発に向けた問題点を整理したいと思います。多数のご来場をお待ちいたしております。

## 記

日時： 2008年7月5日（土曜日） 午後2時～4時30分（開場午後1時30分）  
（セミナー終了後、午後6時まで患者交流会を予定しています）

場所： 国立精神・神経センター研究所 3号館一階セミナー室



費用： 無料

講演予定者： 西野一三 国立精神・神経センター神経研究所 疾病研究第一部  
大矢 寧 国立精神・神経センター病院 神経内科  
中村治雅 国立精神・神経センター病院 神経内科／治験管理室  
中岡亜希 遠位型ミオパチー患者会代表

問い合わせ先： 国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第一部 西野一三  
電話： 042-346-1712 E-mail： nishino@ncnp.go.jp